

豊かな暮らしは“道づくり”から

例えば、一本の道路が走ると、人や物、情報が流れ、そこに企業誕生の土壌が整います。その周辺に企業関連の機関が育ち、働く人のための消費圏が次第に出来上がっていきます。その土地に暮らす人々にとっては雇用の機会も拡がり、豊かな経済生活がもたらされるというわけです。このように、社会基盤を整えることが地域の発展を促し、人々の豊かな生活をつくり出していくのです。熊本県ではこのような考えから、現在、社会基盤の整備のため様々な事業を展開しています。このシリーズではその中の一つ、交通基盤の整備について、現在推進中のプロジェクトを紹介していきます。まず「道路」から。「空港」と「海路」がその後続きます。私達の町にどのような道が走ろうとしているのでしょうか。私たちの暮らしが今変わろうとしています。



交通アクセスが充実。
地域の経済発展へ、夢ふくらむ。

風、立ちぬ

産業振興の鍵、交通基盤の整備が着々と進行中

—くまもとの求心力が高くなる—

●九州新幹線

九州新幹線鹿児島ルートは、八代～西鹿児島間で平成3年から概ね10年後の完成を目指して工事が進められています。残された熊本ルート（八代～博多間）についても一日も早い着工と全線の開通が期待されています。全線が開通すれば、博多～西鹿児島間は約1時間20分、博多～熊本間は約30分で結ばれます。

●九州縦貫自動車道

現在人吉～えびの間が、平成7年頃の開通を目標に工事が進められており、これにより全線が開通します。併せて、八代I.C.～坂本P.A.の2車線区間の解消についても工事が進められており県南地域や南九州とを結ぶ高速交通ネットワークとして実現が期待されています。

●南九州西回り自動車道

八代市から鹿児島市まで約140kmを自動車専用道路で結ぶこのルートは、八代～日奈久間の建設工事が進められています。また、日奈久～芦北間及び芦北以南についても、調査が進められており、南九州西部地域とを結ぶ高速交通ネットワークとして実現が期待されています。

●九州横断自動車道延岡線

御船町から高千穂を経由して宮崎県延岡市まで約110kmを結ぶこのルートは、平成3年12月に御船町～矢部町間の基本計画が決定されています。今後、環境影響評価手続き等を経て整備計画が決定されることとなります。

●熊本空港インター（仮称）

九州縦貫自動車道と県道熊本益城大津線（第2空港線）とが交わるこの地域は、空港と熊本市都心部を結ぶ重要な交通の結節点です。この地点に新しいインターチェンジの設置が決まり、建設に向けての諸手続きが進められています。

●三県架橋（九州西海岸広域基幹ルート構想）

長崎県島原半島から熊本県天草下島、さらに鹿児島県長島へと通ずるルートを形成するために、3県にまたがる2つの橋の建設、及び関連交通基盤を整備しようというこの構想は、九州西海岸地域の観光経済の発展に大きく寄与するもので、現在技術調査が進められています。

●国道整備

本県の国道は20路線あり、実延長は約1,100kmに達し、本県道路網の骨格を形成していますが、その整備はまだ十分とはいえません。現在、県土の均衡ある発展や活力ある地域づくりのため整備を進めています。

●県道整備

国道とともに基幹的道路網を形成する県道の改良率は平成3年4月1日現在で約54%と全国に比べると低くなっています。現在、基幹道路網となっている道路、アクセスの機能をもつ道路などの整備を進めています。

